

もりもり通信 No.18

(森ヨシヒコ後援会報)



八王子市議会議員

森ヨシヒコ 市政報告

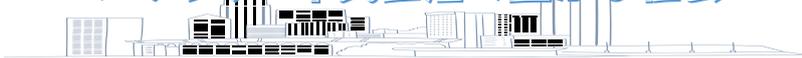
(このレポートは市政・地域情報として、地域の方にも配布しています。)



森 喜彦(もりよしひこ) 1981年生。

2006年八王子市役所に入所。2019年から八王子市議会議員(現在2期目)。無所属(会派は立憲民主・市民の会)。総務企画委員、南多摩斎場組合議会議員、国民健康保険運営協議会委員(会長)。私立海城中学校・高等学校、東京都立大学法学部卒。趣味は天体観察、自転車、無線など。保護猫3匹と同居中。清川町在住。

つくろう 市民自治の豊かな社会



はじめに

今年の1月24日に開会した通常国会(第217回)が6月22日に閉会しました。昨年の衆議院議員選挙によって少数与党となったことで、熟議の国会に一步近づきました。新年度予算だけでなく、年金改革関連法や改正労働施策総合推進法など、暮らしや労働環境に関わる諸制度にも野党の意見反映がなされたのは前進と言えますが、選択的夫婦別姓制度の導入は各党の意見がまとまらず見送られました。また、能動的サイバー防御関連法や日本学術会議法など、新たな戦前に近づく法改正も行われました。参議院選挙に向けて、排外主義や差別思想を鮮明にする政党も登場し、世界で起きている分断が国内にも持ち込まれていると感じます。一見すると反グローバルズムでリベラルであるように見えても、政治の不満の矛先を諸外国やその出身者に向け、民族主義や伝統的価値観を高揚させる主張はナチス・ドイツや戦前日本を彷彿とさせます。人口も資源も乏しいこの国が世界経済の影響を受けやすいのは事実ですが、日本社会の健康で文化的な生活は諸外国の文化や科学を受け入れ、成熟させることの積み重ねによってもたらされています。公平で差別のない安全な国、人や経済の交流が相互利益になる国という国際的信頼を得ることが重要です。安易なナショナリズムに流されることなく、個人と多様性が尊重される社会の実現に向けて、今後も取り組んでまいります。

八王子市議会第二回定例会(6/9~6/26)

前回の市議選から2年が過ぎ、市議の任期は早くも折り返し地点です。6月の定例会にて議長・副議長の改選が行われ美濃部議員(公明)が議長に、岩田議員(自民)が副議長に就任しました。4常任委員会(総務企画・都市環境・文教経済・厚生)の顔ぶれも変わり、森ヨシヒコは2年ぶりに総務企画委員を務めることとなりました。

第二回定例会の議案には国の制度改革に合わせた市条例の改正案や農業委員選任等の人事案件の他、補正予算案が上程され、全ての議案が可決・承認されました。

| 補正予算(28億6527万円)の主な使途 | |
|----------------------|-----------|
| 調整給付金(前年度定額減税の清算) | 21億4100万円 |
| 民生委員活動費・IT機器更新 | 3423万円 |
| 保育無償化(第一子)、保育所支援等 | 1億3832万円 |
| 通学路防犯カメラの更新 | 7875万円 |
| 子ども・若者基金への積立 | 2億6980万円 |

※調整給付金は、昨年度の所得税や定額減税の実績額が確定したことに伴い、定額減税の対象になることが決まったり、不足額が生じている方に対して給付をするものです。

カスタマーハラスメント(カスハラ)がない社会を

今議会で森ヨシヒコは「カスタマーハラスメント(以後、カスハラ)対策」をテーマに一般質問しました。客が店や従業員に対して不当な内容や手段でクレームをする「カスハラ」が社会問題化しており、近頃はスーパーや公共交通機関などでもカスハラ禁止や対策を知らせるポスターを目にするようになりました。東京都では2025年4月から、カスハラ防止条例を施行し、八王子市役所でも事例増加を受けてカスハラ対策の基本指針やマニュアルを策定しました。都条例では、業務(非営利活動やボラ



参議院議員選挙 八王子駅前にて

ンティアも含む)に従事する人(就業者)が業務に関連してかかわる人を広く顧客等と定義し、「何人も、あらゆる場において、カスタマー・ハラスメントを行ってはならない」と定めています。その対策として罰則はありませんが、雇用主にはカスハラ発生時に顧客等に行為を止めるよう申し入れすることや、報告相談体制の整備などを義務付けています。カスハラは顧客と就業者の間だけの問題ではありません。現場にいる他の顧客や同僚就業者に不快感や精神的負担を与え、就業者が正常に就業できない状況になり、休職・退職といった事態になれば、事業の安定性や経営にも悪影響が生じます。行政の現場でおきれば、市民、社会全体が被害者と言えます。



東京都産業労働局の TOKYO ノーカスハラ支援ナビ HP

しかし、カスハラは禁止と言えれば済むような単純な問題ではありません。要求がエスカレートして脅迫や暴行に至ればハラスメントではなく犯罪として警察等が対応することもできますが、顧客・市民にはまっとうにクレームして改善を要求する権利もあります。カスハラ対応には、正当なクレームを超えているが犯罪未満、というグレーゾーンの濃淡にどう適切に対応するのかという問題が常に問われます。カスハラが発生した場合に責任者がきちんと対応する以前の問題として、カスハラとは何か、どうして許されないのかという共通認識を社会全体でもち、「私たちはハラスメントの被害者にも加害者にもならない」という社会風土を作っていくことが大事です。職員が安心して働ける職場環境の整備、職場に対する信頼性とリスク管理能力を高める仕組みの整備に関して公益通報制度の運用改善についても質問し、行政の公正・信頼を高める方策について、市長にも質問しました。議会の様子は会議録やインターネット中継にて随時配信されています。今回の質問の動画は下記 QR コードから視聴できます。



2025 年 8 月 組織改正について

6 月 18 日の総務企画委員会にて、8 月に実施される組織改正について報告がありました。環境部、資源循環部、水循環部、道路交通部の事務分担見直しが行われ、ごみ清掃に関する業務や、水辺のまちづくりや下水道に関する業務が環境部に統合されます。ただし、水路管理に関することは災害対応や日常のメンテナンスを円滑にする観点から、道路交通部(水路管理課)が担当します。これに伴い、ごみ減量対策課が資源循環課に改称するなど、課の名称変更や新設もあります。町会自治会や市民活動などで環境学習や清掃活動に関係されている方は、8 月以降、問い合わせ先にご注意ください。詳細は市の広報をご覧ください。

写真で振り返る最近の活動



中野住民協議会 中野市民センター 七夕祭り



2025 健康フェスタ・食育フェスタ



三多摩メーデーにて岸まきこ参議院議員と

ニュースに対するご意見や感想、市政相談は下記まで気軽にお寄せください。後援会の加入、ポスター掲示の御協力、ポスターリングなどのボランティアも随時募集しています。

発行・問合せ先: 森ヨシヒコ後援会
〒193-0804 東京都八王子市清川町 19-10
Tel: 070-5580-6844
Fax: 042-698-5013
ホームページでの発信も行っています。
Email: info@moriyoshihiko.net
WEB: <https://www.moriyoshihikohachioji.com/>

